

平成28年7月19日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

未来の技術者 港湾整備を学ぶ ～豊田高専1年生が名古屋港を見学～

平成28年7月7日(木)、国立豊田工業高等専門学校 環境都市工学科の1年生 43名が、名古屋港を見学しました。中部地方整備局が実施する港湾整備の重要性や、名古屋港の果たす役割について学習し、専門的な思考を養いました。



【目的】

今回の見学は、同校のキャリア学習の一環として実施しました。現場での体験を通じて、土木技術者を目指す学生たちに土木の仕事に、より興味を持って学習してもらうことを目的としています。

【行程】

学生達は、名古屋港湾事務所職員から名古屋港の発展の経緯や港の役割について話を聞くと共に、コンテナターミナルや完成自動車の輸出状況などを船上から見学し、名古屋港の現場を実際に見て、名古屋港の役割や港湾整備の必要性を学びました。

【学生の反応】

学生からは、「大型化した船舶が入港可能な航路に整備するためには、いくらかかるのか。」「中部地方整備局ではどのような整備を行っているのか。」といった多くの質問がありました。また、船上ではしきりに写真撮影をするなど、間近に見る名古屋港の役割の重要性やスケールの大きさに感心した様子でした。

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 三崎(みさき)、前川(まえかわ) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303